

# 平成 28 年度 事業計画

## 附 岡山理科大学附属高等学校

教育の質的改善に取り組むことによって、地域社会から一層信頼される高等学校づくりを推進します。



建学の理念や校訓を実質的に実りあるものにするために、次のような教育活動の方針を定着せしめます。

- (1) 高等学校教育を組織的な最後の教養教育の場としてとらえ、各教科をしっかりと教えることによって、生徒に継続的な勉学の習慣と確かな学力を身につけさせます。
- (2) 高等学校時代を人生で人格的変容のもっとも重要な時期ととらえ、依存的な子どもから自立的な大人へと脱皮してゆくように、生徒の生活指導を行います。
- (3) 生徒の安全と身体的健康に注意し、自由で開明的な校内雰囲気を醸成します。

特に、今年度は重点目標を学校改革とし、学校改革も進めながら、次の5つの事項に留意して事業を進めます。

- ①財務改善
  - ・教員人事の適正厳守（員数と年齢構成）
  - ・教育課程の効率化（共通化と特色化の仕分け）
  - ・生徒定員の充足
- ②効率的・実質的な校内組織（簡素化指向、役務の流動化、若手の登用、横の連絡の強化、女性教員の役職参加）
- ③4つのバランス（附属高校改善のための調査から）
  - (i)文武のバランス（進学実績の向上、新しい進学指導プログラム）
  - (ii)男女生徒の適正比率（女子生徒の増加）
  - (iii)文理志望のバランス
  - (iv)教員年齢構成の適正化
- ④教育学科の育成（全校的取り組みへ）
- ⑤SSH事業の継続（協働探究学習と基礎学力）

岡山理科大学附属高等学校  
校長 洲脇 史朗

### 教育の充実

#### ■SSH校としての取組

- (1) 全校一丸となり、研究開発・指導に取り組む体制を構築し、実行します。そのために、サイエンスワークを1年生全体の取組みで発表力や協働する力を養成します。さらに、高校2年生と3年生での課題研究で探究力を高め、大学聴講により円滑な高大接続を目指します。
- (2) SSH事業計画
  - ①自然体験・科学部活動の充実によるSSH事業の推進
  - ②カリキュラムの開発
  - ③言語力や国際的素養の育成
  - ④高大接続・大学聴講
  - ⑤新しい教育評価法の研究

#### ■関連校・提携先との連携による質の高い教育の提供

高校での授業に加え、関連大学や関連専門学校での実習、聴講を体験することで、多面的な理解を深めます。また、より体験的な教育として、学園の提携する施設等（池田動物園・山田養蜂場他）での実習により、興味・関心を深めます。

#### ■学校内での学力向上取組

- (1) 学校行事を精選し、より多くの授業時間を確保します。

(2) 補習や諸検定試験、模試を有効に活用します。

### ■教職員への資質向上への取組

- (1) 公開授業を実施し、校内教員や外部講師による授業評価を受けることで、教員の教育力向上に取り組めます。
- (2) 先進的な教育や取り組みをしている学校等を視察・見学・体験し、本校への導入を検討することで、新たな教育の展開に努めます。
- (3) 外部講師を招き、資質向上のための講演会を実施します。

## 生徒指導

### ■生徒指導

- (1) 教育相談室・保健室・担任・生徒指導部・管理職との連携を強化し、生徒の学校生活を支援します。
- (2) 朝のあいさつ運動を実施し、あいさつ、マナー向上を目指すとともに、生徒の服装、頭髪の乱れなどへの声かけ・指導を行います。
- (3) 生徒・教職員が協力して自転車マナー向上運動を実施します。
- (4) P T Aと協力しての保導活動（街頭保導・列車保導）を実施します。
- (5) 岡北セーフティネットを通じて地域との協力・連携を強化します。
- (6) いじめ予防のための人権学習を進めます。
- (7) ソーシャルメディアの正しい活用について指導を行います。

## 進学・就職指導

### ■進学指導と就職活動支援

- (1) 国公立大学への進学者が増えるよう、学力向上を目指したプログラムを計画・実施します。
- (2) 関連大学を紹介する機会を増やし、関連大学へ

の進学意欲を更に向上させます。

- (3) より多くの大学訪問を行い、広く情報交換を行い、指定校獲得を目指します。
- (4) 生徒に合わせた就職指導を行い、学校斡旋就職率100%を目指します。

## 科・コースの取組

### ■教育学科

設置2年目を迎え、当初の趣旨の通り、教員をめざす生徒の熱意を冷めさせることのないように、小学校等での体験学習を実施すると共に、入試科目などの一般科目にも十分な時間数を配置して、基礎学力の充実と向上に努めます。

### ■普通科

四年制大学をはじめとする上級学校へ進学するために、必要な学力を習得させるべく、指導内容の精選とわかりやすい授業を行うとともに、放課後補習や課題での指導によって基礎学力の充実と向上に努めます。

また、確かな進路実現を図るため、幅広い情報収集と的確な分析による、組織的で継続的な進路指導に努めます。

### ■機械科

- (1) 資格取得の強化のため、徹底した補習を実施します。
- (2) ジュニアマイスター、技術顕彰等の受賞者10名を目指します。
- (3) 高大連携を構築し、関連大学への進学を保障できるよう指導します。

### ■電気情報科

- (1) 国家資格等の中から3つ以上の資格取得を目指します。
- (2) 進学希望者には、高大連携を継続実施して関連大学への進学を目指します。

(3) 就職希望者には面接指導等を強化し100%の内定を目指します。

## 通信制課程

### ■通信制課程の取組

教育を受ける機会を最大限に配慮し、入学、転入学については、随時可能としています。また、入学した生徒に対し、学年令の区分には縛られない、生徒の希望、資質、進路に適合したユニークなクラス編成を設定しており、生徒のニーズに合った指導を実施していきます。

#### 〈今後の取り組み目標〉

#### 1. 平日コースの充実

小学校、中学校就学時において、何らかの要因で十分な教育の機会と成果を得ることが出来ない生徒に対して、平日、週2日の通学を計り、H・R、所定の授業、学校行事、各種研修を計画的に実施することにより、自律・協調・継続という社会性と教養を高める指導を単位制・学年制で充実・完成を推進します。

#### 2. 進路先の開拓と充実

通信制課程高等学校卒業後の進路確定率をさらに向上させ、全国トップ10入りを目指します。

#### 3. 生徒募集活動の強化

学校説明会を毎月実施します。また、ホームページの内容を充実させ、募集活動に繋がります。

## 内部質保証

### ■授業アンケートによる授業評価

生徒、保護者に授業アンケート等を実施します。結果を以後の学校運営や授業へ反映することでより良い教育の提供に努めます。

## 主な行事予定

4月8日	始業式
4月9日	入学式
4月17日	入学式（通信）
5月16日	P T A総会
6月15～ 16日	球技大会
7月17日	後援会総会（通信）
7月24日	卒業式（通信）
8月28日	入学式（通信）
9月28日	体育祭
9月30日	文化祭
10月1日	文化祭（通信）
12月4日	卒業式（通信）
12月18日	入学式（通信）
1月上旬	県外生入試
2月上旬	選抜1期入試
2月中旬	選抜2期入試
3月1日	卒業式
3月12日	卒業式（通信制課程）
3月17日	終業式

## 生徒・教職員数

### ■在籍生徒数

(平成28年5月1日現在)

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数	
全 日 制 課 程	教育学科	40	7	80	16	
	普 通 科	特別進学コース	20	310	1,140	877
		進学理大コース	60			
		進学総合コース	60			
		生命動物コース	40			
		アニメ・デザインコース	60			
		健康・スポーツコース	60			
		中高一貫コース	80			
		進学医療コース (募集停止)				
	普通科 計	380				
機械科	80	56	240	171		
電気情報科	(募集停止)		40	28		
全日制課程 計		500	373	1,500	1,092	
通信制課程 (広域) 普通科				600	190	
総合計		500	373	2,100	1,282	

(単位：人)

### ■教職員数

(平成28年5月1日現在)

校長	副校長・教頭※	教諭	教員 計	事務職員
1	5	66	72	14

※中学校との兼務者2名含む。

(単位：人)

# 財務関係

## ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	
		28年度 予算額	前年度 決算額
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	646,308	661,128
	経常費等補助金	298,474	333,327
	その他収入	31,586	182,245
	計	976,368	1,176,700
	教育活動収支差額	-363,005	-346,844
教育活動 支出	人件費	950,259	1,098,052
	教育研究経費	276,569	312,941
	管理経費	112,545	112,551
	その他支出	0	0
	計	1,339,373	1,523,544
教育活動外 収入	受取利息等	21	50
	借入金利息等	16,641	21,060
	教育活動外収支差額	-16,620	-21,011
経常収支差額		-379,625	-367,855
特別 収入	資産売却差額等	1,000	970
	資産処分差額等	0	839
特別収支差額		1,000	132
基本金組入前収支差額		-378,625	-367,723
基本金組入額合計		-11,161	-262,505
当年度収支差額		-389,789	-630,227

## ■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
第11校舎1階女子トイレ改修	882
第12校舎2階女子トイレ改修	2,090